

## Two（バーゼル自転車展）及び市内自転車店調査報告

### 1. Two（バーゼル自転車展）

スイス北部、独仏両国の国境付近位置するバーゼルにて、消費者向け自転車展「Two」が消費生活用品展「muba」と共に10日間にわたり開催された。

#### 【Two 2011】

主催： MCH Messe Schweiz (Basel) AG

会場： バーゼル国際見本市会場

会期： 2011年2月4日(金)～13日(日)

開催時間： 10:00～18:00

使用ホール： Two; Hall 2.0 2,500 m<sup>2</sup>、muba: Hall 2.0～2、1.0～1 計 60,500 m<sup>2</sup>

入場者数： 302,846人 ※muba 総計

出展者数： Two; 20社、muba; 884社 ※出展ガイドより集計



バーゼル国際見本市会場



Two 会場内の様子

バーゼル自転車展 Two は、今年で 95 回目を数える大規模消費生活用品展 muba と共催され、Two の展示面積は muba のごく一部、ホール 2 をわずかに占める程度であったが、自転車展にも多くの来場者が詰めかけた。

展示車種では、電動アシスト自転車が主体でスポーツ車やシティ車及びトレッキング車は少なかった。更に狭いながらも専用の試乗コースも設けられていた。会場には自転車好きのサイクリストよりも中高年夫婦や家族連れ等の来場者が多く、熱心に電動アシスト自転車を見て回る姿がみられた。自転車の日常利用が盛んな同地において、既存の自転車愛好者をターゲットにするのではなく、年齢層が高い一般消費者が数多く訪れる大規模催事との共催も一定の効果があったとみられる。



フライヤー



カルクホフ及びビスパルタ

各小間は間仕切りの壁等は一切なく、全体的にオープンスペースとなっていた。主な出展ブランドでは、地元の電動アシスト自転車メーカーのフライヤー、ドイツのダービーサイクルのカルクホフ、アクセルグループのウィノーラ、ヘラクレス及びビスパルタなどで、その他地元スイスのブランドも多く見られ、近年、電動アシスト自転車が同国市場で販売台数を急激に伸ばす人気車種であることが十分に伺える内容であった。出展された電動アシスト自転車の平均販売価格帯は、3,000～4,000 スイスフラン(以下 CHF と表記; 255,000～340,000 円)であり、スポーツ車タイプは、CHF3,500～4,500(297,500～382,500 円)、また、最大出力 250W を超えるモデルも用意され、概ね 300W～500W の出力のものは CHF4,500～5,000(382,500～425,000 円)である。また、量販店ブランドの同車種の同価格帯は、CHF900～1,700(76,500～144,500 円)程であった。

次回 muba は、メッセの改修工事の関係で会期を遅らせ、2012 年 4 月 13～22 日の間に開催予定であり、まだ発表はないが Twoo も共催される公算が高い。



新興ブランドも続々と出現 (左; TDS Velos 右; Stromer)

## 2. バーゼル市内自転車小売店調査

調査実施日： 平成 23 年 2 月 4 日(金)

調査地域： バーゼル市内中心部

### 調査店舗①

最初に市内中心部バーゼル駅近くの店舗を訪問した。通りに面した売り場は、自国ブランドのフライヤー製電動アシスト自転車 20 台程が展示されている専用売り場となっていた。奥の広い売り場には、スポーツ車やトレッキング車が 60 台余り展示されていた。主要ブランドでは、スポーツ車のうち MTB は FELT、トレッキング車はベルガモントや STEVENS が中心であった。また、屋外にも電動アシスト自転車やトレッキング車が 15 台程展示されていた。



### 調査店舗①

### 調査店舗②

次に閑静な住宅街に位置するスポーツ車専門店を訪ねた。取扱ブランドはジャイアントとキャノンデルが中心で MTB は 40 台余り、中心価格帯は、CHF2,000~3,000 (170,000~255,000 円)、ロードレーサーも 20 台、価格帯は CHF3,000 (255,000 円) 前後が中心であった。他には CHF1,500 (127,500 円) 程度のトレッキング車やシングルスピード車等も 20 台程展示されていた。

### 調査店舗③

続いてスポーツ車専門の店舗を訪問した。オリジナルブランドの完成車やフレームなども見られるが、店内在庫は 20 台程の小規模な売り場であった。



調査店舗②



調査店舗③

#### 調査店舗④

更に店舗①と駅を挟んで反対側にあるスポーツ車専門店を訪問した。取扱ブランドはトレックが多くを占め、一部、キャノンデールも加わっていた。車種ではMTBが30台、ロードレーサー20台、その他、CHF1,000(85,000円)程のシングルスピード車や小径車等が20台展示されていた。イタリアのクオータ等のCHF3,000(255,000円)超の高額なロードレーサーも見られた。訪問時にはお客さんがロードレーサーを試乗中であった。

#### 調査店舗⑤

続いて住宅街にある中規模店舗を訪問した。スポーツ車はFELTを中心に、GHOSTやコラテック等が加わりドイツのブランドの扱いが多かった。MTBはCHF1,500(127,500円)前後が中心で、他にはトレッキング車が30台程で自転車整備場は通りに面した場所にあり、訪問時にも修理に訪れる客が絶えることがなく、近隣住民の頼れる「街の自転車屋」といった印象であった。



調査店舗④



調査店舗⑤

#### 調査店舗⑥

次は動物園の近くに位置する中規模店を訪問した。トレッキング車はコガを中心に30台程、価格帯はCHF1,000~2,000(85,000~170,000円)であった。スポーツ車はジャイアントのMTB

を中心に別室専用売り場に 30 台程展示され、価格帯は、CHF1,000~2,000 (85,000~170,000 円)であった。電動アシスト自転車は、ジャイアント製が CHF3,000 (255,000 円)であった。また、店頭には中古の MTB が 5 台程置かれ価格は CHF500 (42,500 円)前後であった。なお、非売品のエディ・メルクスやクライン等、1990 年代のスポーツ車も見られ、同店が長らくスポーツ車を扱っていることが伺えた。



調査店舗⑥

#### 調査店舗⑦

鉄道の駅から少し離れバーゼルメッセ近くの小型店を訪問した。敢えてクラシカルなスタイルのシングルギヤ車のみを揃えていた。チネリのピスト車は、CHF1,500 (127,500 円)、その他、ブロンプトンやアレックス・モルトンの折りたたみ車も展示されていた。電動アシスト自転車や機能的なトレッキング車は一切なく、扱う部品や付属品もブルックスなど皮製品が多く見られ、同店のこだわりが見られる。同地でもこのような趣味性の高い自転車の需要があることも伺えた。

#### 調査店舗⑧

続いて店舗⑦の近くにある別の店舗を訪ねた。ここは自転車とスクーターの併売店で自転車はスペシャライズドが中心であった。CHF3,500 (297,500 円)を超える高額な MTB から、同社ブランド「GLOBE」のシティ車も扱っていた。日本で良くみられる併売の二輪車店ではなく、スクーターはイタリアのベスパのみ、自転車も米国の高額品を揃えたブランドにこだわる店という印象であった。



調査店舗⑦



調査店舗⑧



街中で見かけた子供乗せトレーラー（下段；出力 500w の Dolphin E-bike）

### 3. 市内自転車乗用環境

バーゼル市内では自転車利用者が数多く見られ、至る所に小規模な自転車駐輪場があった。また、電動アシスト自転車も街中でよく見かけ、更に最大出力が 250W を超えるモデルはモペッドと同じく黄色いナンバープレートを付け、乗車の際にはモペッドの運転免許が必要であ

るが、こちらでも街中で度々見かけた。

スイスでは同車種が既に人気を得ていることをあらためて実感したが、元々MTB 等の高額スポーツ車の一定の需要があったこと、更に昨今のブームに先駆けて同車種の製造を続けてきた有力メーカーが同国に存在していたことも普及が進んだ要因とみられる。2009年スイスの販売台数は2万3千台余りに達し、フランスを追い越し欧州第3位にまで増加した。同国がドイツ、オランダなどに続く電動アシスト自転車市場として更に成長を続ける可能性も十分にある。



バーゼル市内の電動アシスト自転車



フライヤーの 300W モデルはナンバープレートが付く

参考； スイスの電動アシスト自転車販売台数推移 (単位；台)

年	2005	2006	2007	2008	2009
販売台数	1,792	3,181	5,825	12,600	23,886

統計出所； velosuisse

以上  
(デュッセルドルフ事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。